

コンテンツのデジタル・アーカイブに関する 今後の取組について

平成27年2月

内閣官房

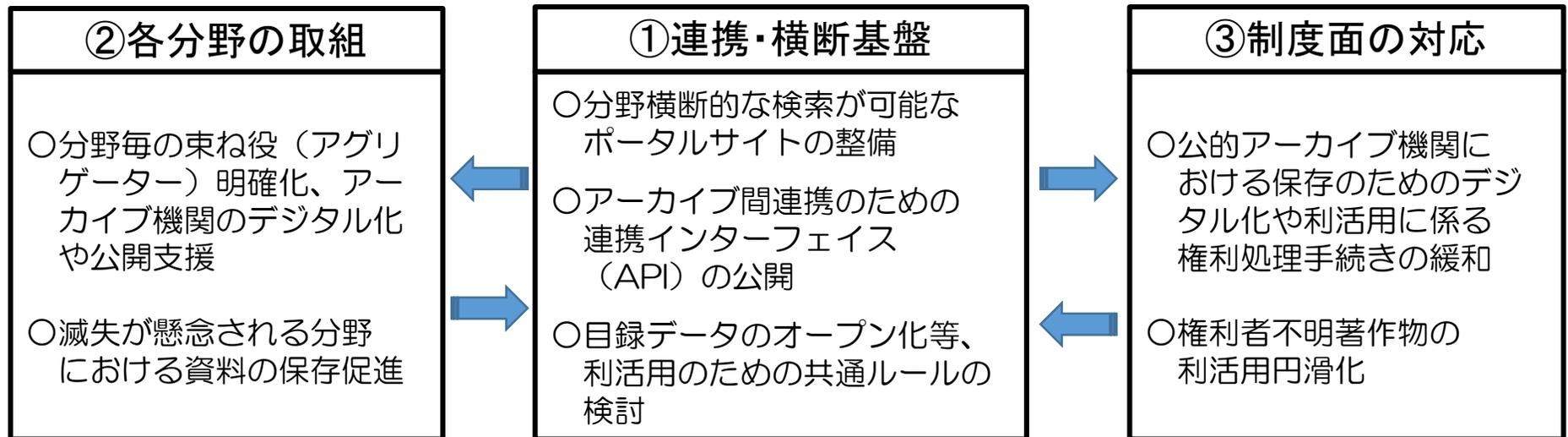
知的財産戦略推進事務局

1. デジタル・アーカイブの現状と課題

アーカイブを巡る課題と取組の方向性

課題

- 個々の機関、分野ごとに取組は進みつつあるが、アーカイブ間の連携が不十分。このため、デジタル化した資料を一元的に利活用できる環境にない。
- 分野ごとに取組状況にばらつきあり。特に、映画、アニメ等、新しい文化資産について、資料の滅失が懸念される状況。
- 個々のアーカイブ機関において、保存のためのデジタル化（複製）や、デジタル化した著作物等を発信・利活用する際の権利処理手続きが過大。



関係府省・実務者協議会（仮称）の設置

目指すべきアーカイブ全体像(イメージ)

利活用 (分野毎)

コンテンツ二次利用

- 美術品等の画像データの利用(出版物等への利用)
- 著作権の切れた書籍の再出版
- 映像コンテンツの教育での利用 等

情報発信への活用

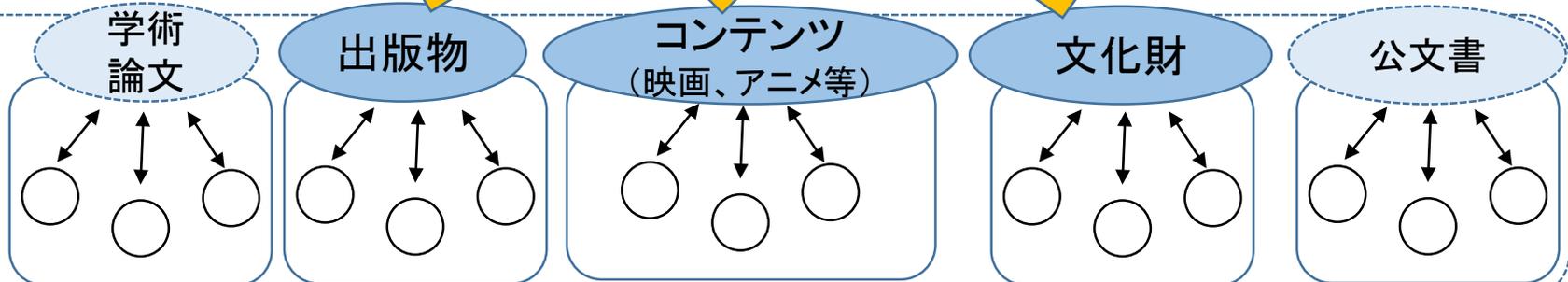
- 国内外に向けた日本文化や博物館等の宣伝・発信
- 来館者へのサービス向上
(個人端末での多言語での作品紹介)
- 収蔵品の相互貸借の効率化 等

連携・横断

- 分野横断的なコンテンツ検索を可能に
- 各機関が構築したアーカイブを分野ごとに束ねる機能(アグリゲーター)を明確化

分野横断的なコンテンツ利活用基盤
(検索ポータル)

収集・保存 基盤 (分野毎)



2. アーカイブ利活用促進に向けた当面の取組

① 連携・横断ポータルの整備と連携体制の明確化

【統合ポータル】

分野横断のポータルサイト

【各分野の束ね役 =アグリゲーター】

アグリゲーターを中心に、分野ごとの
目録データの標準化・集約化、収蔵
品のデジタル化を推進

書籍等

文化財

メディア芸術・映画

放送コンテンツ

【各アーカイブ機関**】

- ・収蔵品のデジタル化によるコンテンツ作成
- ・所蔵目録のデジタル化
⇒ ウェブ公開

図書館

美術館・博物館

大学・業界団体等

※※地方や民間のアーカイブ機関も含め、幅広く連携

国立国会図書館において、

- NDLサーチを基に、分野横断的なコンテンツ検索を実現
- 統合ポータルと連携するための仕様（インタフェース）の明確化

アーカイブ主要分野について、束ね役（アグリゲーター）を明確化

- ・書籍等： 国立国会図書館
- ・文化財： 文化庁※
- ・メディア芸術・映画： 文化庁※★
- ・放送コンテンツ： （公財）放送番組センター、NHKアーカイブス

※中核的なアーカイブ拠点がなため、政策省庁にて対応

★現物の収集・保存については、納本制度に基づき、国立国会図書館においても実施

アーカイブに関する関係府省・実務者協議会（仮称）を設置し、

- 分野毎の、統合ポータルとの連携項目・方法
- 目録データのオープン化など、利活用のための共通ルールの整備
- 横断基盤及び主要分野ごとの工程表の作成と進捗管理等を実施

② 2020年に向けた情報発信・インバウンド強化 ～文化財分野～

全国の博物館・美術館等において文化財をアーカイブ



提供

(現状)

国において文化遺産オンラインを運営。全国の博物館等でアーカイブしたデータを、一般ユーザーが利用しやすい形で掲載



今後の取組

- 日本遺産を構成する文化財や、国宝・重要文化財以外の地域の文化資源に関するデータの集約を進めるとともに、多言語化を含め利活用に資する取組を推進
- 文化財以外のデータベースとの連携を推進

国内外に発信



文化遺産オンライン

◇平成27年度内容

○登録情報制作業務委託事業【新規】

美術館・博物館の所蔵品情報等のデジタル化、著作権処理、英訳等を業務委託し、文化遺産オンラインへの登録を推進

○普及啓発活動【新規】

美術館・博物館や教育機関等への広報等、文化遺産オンラインへのデータ登録や利活用の推進に資する普及活動を実施

◇構築作業計画

	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)
博物館 所蔵情報掲載						→
国指定文化財 画像掲載						→
多言語サイト 構築						→
スマートフォン サイト構築						→
普及啓発						→



② 2020年に向けた情報発信・インバウンド強化 ～映画などのメディア芸術等～

1 現在の取組

これまで創造されてきたメディア芸術作品について体系的な収集・保存がなされておらず、散逸や劣化の進行のおそれ

- ➡
- ①全体像を把握するためのメディア芸術データベース(マンガ、アニメーション、ゲーム、メディアアート)の構築・公開
(本年3月中に文化庁HPにて公開予定)
 - ②所蔵機関等向けのデジタルアーカイブ・ガイドラインの策定 **を実施中** 【今年度中】

マンガ分野

- ◆国立国会図書館等の主要な所蔵館(7館)の所蔵データを基に、**単行本約25万冊、雑誌約8万冊の基礎データを作成**
- ◆マンガ原画のデジタル化の仕様、借用手順等を検証

アニメーション分野

- ◆劇場、TVアニメーション等**約9千タイトルについて基礎データを作成**
- ◆企業等の協力により**原版の調査**を実施
- ◆アニメーション作品のアーカイブ手法を整理・分析

ゲーム分野

- ◆家庭用ゲーム機、アーケードゲーム等の**約3.5万タイトルについて基礎データを作成**
- ◆制作会社の協力により、**ゲームタイトルや関連資料の調査**を実施

メディアアート分野

- ◆展覧会等に関する情報を体系化するための手法を整理・検証
- ◆上記手法に基づき、**展覧会等の催事約1万件、作品情報約2.5万件について基礎データを作成**

映画分野

- ◆東京国立近代美術館フィルムセンターによるフィルム収集とデジタル化
- ◆フィルムセンター収蔵作品について(日本劇映画)、**ウェブ検索可能(約6,300作品)**

メディア芸術データベースの構築・公開/ デジタルアーカイブガイドラインの作成

2 今後の取組について

- ① 文化関係資料のアーカイブ構築に関する調査研究の実施(アーカイブ中核拠点形成モデル事業)
⇒ 大学等民間主体でのアーカイブ構築を促進するため、デザイン等のモデル分野における中核拠点の形成を支援(所蔵館間のネットワーク形成を推進し、当該分野全体のアーカイブの構築を促す)。
- ② メディア芸術データベースの運用・利活用の促進
⇒ データベースの維持管理、新たな情報の効率的な入力、インターフェイスの改良などによりデータベースの内容の充実を図り、利活用を促進。
- ③ メディア芸術作品のアーカイブ化に係る取組への支援
⇒ 所蔵館、研究機関、制作会社等における、デジタル化等を実施する際の経費の一部を支援。
- ④ 映画については、フィルムセンターにおいて引き続きフィルムの収集やデジタル化等を実施。

② 2020年に向けた情報発信・インバウンド強化 ～放送コンテンツ分野～

～ 放送番組に係る公開アーカイブと他のアーカイブ機関との連携 ～

○放送番組を公開しているアーカイブは、現在、公益財団法人 放送番組センターの放送ライブラリーとNHKアーカイブスの番組公開ライブラリーの二種類。

○当該施設内で閲覧できる番組について、利用者への利便性のため、既にWEBにて検索可能。

他のアーカイブ機関との連携について、連携のあり方を含め今後検討。

〔放送ライブラリー〕

公開番組は1.9万本(テレビ番組1.5万本、ラジオ番組0.4万本)

〔NHKアーカイブス番組公開ライブラリー〕

0.9万本(テレビ)

分野横断的な 検索機能

※国会図書館が使用している検索システムを機能拡充することを念頭

連携のあり方
を含め検討

放送ライブラリー



思い出の番組をもう一度

放送ライブラリーは、放送局の記憶をデジタルアーカイブとして、いつでもどこでも、誰でも検索・視聴できるサービスです。

視聴できる番組の検索はこちら

タイトル(番組名)、(放送した)放送局名、ジャンル、放送日での一覧が表示



今月の注目番組
放送ライブラリーでよく視聴されているテレビ番組をご紹介します。
〔番組名50音順、2015年1月視聴実績より〕
☆ いいなり1黄金伝説。若人入部バトル 究極の節約企画No.1 決定戦Ⅰ < 2004/1... >

公開番組
2015年1月の注目番組
○新規公開番組より、注目のトピックの特集です。★「ちびまる子ちゃん」関連番組★ ドラマ「まるまるちびまる子ちゃん」を公開しました。アニメや1992年に放送されたドラマ「さくら家の人びと」等も...

イベント案内

テレビが面白くなったから4年「日本大震災」
放送番組センターでは、日本大震災と放送「生」に、2011年9月からの経緯として、東日本大震災の関連番組の番組上委員会公開セミナーを開催して来ました。大震災と関係する報道における放送メディアの役...

国内・海外で受賞した番組、話題を集めた番組等を収集

〔公開番組の内訳〕

民放:NHK	＝約7割:約3割
ドキュメンタリー	43%
教育・教養	26%
ドラマ	14%

〔利用者数〕 約10万人/年

〔利用拡大に向けた取組〕

アーカイブを有効に活用するため、以下のような取組を実施。

- ①大学での教育利用
- ②地方の「サテライト・ライブラリー」での利用

NHKアーカイブス (埼玉県川口市)



番組公開ライブラリー検索

番組公開ライブラリー検索
番組公開ライブラリーは全国のNHKの放送局が共同で構築した、NHKが過去に放送した番組の一部を無料で視聴できます。

検索キーワード (複数入力もスペースを入れて)

検索条件を設定する (オプション)

番組表 視聴履歴

放送年を設定する
指定しない 年から 指定しない 年まで

検索

〔公開番組の内訳〕

ドキュメンタリー	35%
ドラマ	28%
音楽・娯楽等	8%

〔利用者数〕 13万人/年

〔利用拡大に向けた取組〕

NHK放送局など国内58箇所の施設に設置された番組公開ライブラリー専用端末で視聴可能。

(参考) デジタル・アーカイブの定義

① コンテンツのデジタル化 (=コンテンツ作成)

- 映像コンテンツであれば、フィルムのデジタル保存
- マンガ、書籍であれば、電子書籍化
- 美術品・文化財であれば、画像データの作成(2D、3D)

② コンテンツに関する情報のデジタル化 (=目録のデータ化)

- 名称、作成者、制作年、収蔵場所、対象物の概要、関連する権利者などの情報
- 映像コンテンツ、書籍、文化財等の分野毎で、目録の作成方法が異なる



(参考) 日本コンテンツの主なアーカイブの現状

<p>ゲーム</p> <p>マンガ アニメ</p>	<p>立命館大学ゲーム研究センター 資料数: 不明</p> <p>東京国際マンガ図書館 (明治大学) 資料数: 約14万点(マンガ)等</p> <p>京都国際マンガミュージアム (京都市、京都精華大学) 資料数: 約30万点(マンガ)</p>	<p>文化庁 「メディア芸術アーカイブ事業」 資料情報数 (ゲーム) 約3.5万タイトル (マンガ) 単行本約25万冊、雑誌約8万冊 (アニメーション) 約9千タイトル</p>	<p>※国立国会図書館は、納本制度に基づき、出版物のほかCD、DVD、ROMカセット等の媒体による音楽、映画、ゲーム等についても収集。 ※「現物資料の情報のDB化」については、各館・機関単位で行われているものは記載せず、横断的な取組等のみを記載。 ※国立国会図書館の納本制度による資料数は、国立国会図書館年報(平成24年度)による。</p>
<p>出版物等</p>	<p>国立国会図書館 ※納本制度 資料数: 約1000万点(図書) 約2000万点(逐次刊行物) 約1000万点(非図書資料)</p>	<p>国立国会図書館 「国立国会図書館サーチ」 資料情報数: 約1億件(書籍) ※各地の図書館との横断検索</p>	<p>国立国会図書館 約230万点(合計) 約9万点(古典籍) 約112万点(雑誌) 約90万点(図書) 約14万点(博士論文) 約5万点(音楽・演説)</p> <p>「近代デジタルライブラリー」 約35万点(著作権満了資料)</p> <p>「歴史的音源(れきおん)」 約1000点(音楽・演説)</p>
<p>放送番組</p>	<p>(公財)放送番組センター 資料数: 約1.9万本(放送番組)</p>	<p>JAPACON (海外向けコンテンツ情報ポータル) ※TV番組、アニメ、映画等の書誌的情報を発信</p>	<p>(公財)放送番組センター 約1.9万本(放送番組)</p> <p>NHK「NHKアーカイブス」 資料数: 約85万本(放送番組) 約600万件(ニュース映像)</p> <p>※ 教育・研究に係る実験的なネット利用の取組開始</p> <p>※ 一部番組について有料でネット配信(NHKオンデマンド)</p>
<p>映画</p>	<p>(独)国立美術館 (東京国立近代美術館フィルムセンター) 資料数: 約6万7000本(フィルム) 約65万点(スチル写真) 約5万点(ポスター)</p>	<p>文化庁 「日本映画情報システム」 資料情報数 45,521件(映倫審査作品)</p>	<p>(独)国立美術館 (東京国立近代美術館フィルムセンター) 約2400本(デジタル映画作品)</p>
<p>文化財</p>	<p>(独)国立文化財機構(国立博物館) 資料数: 約13.6万点(収蔵+寄託)</p> <p>(独)国立美術館 資料数: 約4.1万点(美術作品)</p>	<p>文化庁「文化遺産オンライン」 国指定文化財、地方公共団体、全国の博物館・美術館提供の情報</p>	<p>(独)国立文化財機構(国立博物館) 「e-国宝」 1057点(高精細国宝・重要文化財件数)</p> <p>(独)国立美術館 約3.5万点(公開数: 約1.4万件)</p> <p>約11万件(文化遺産情報) 約5万件(文化遺産画像)</p>
<p>(参考) 公文書等</p>	<p>(独)国立公文書館 資料数: 約135万冊(公文書) 29点(重要文化財)</p>	<p>(独)国立公文書館(横断検索) 資料情報数: 不明 ※各地の9つの公文書館との横断検索</p>	<p>(独)国立公文書館 「国立公文書館デジタルアーカイブ」 公文書: 約12.7万冊 重要文化財・貴重文書: 1473点</p>
<p>アーカイブ化の ステージ</p>	<p>現物の収集・保存</p>	<p>現物資料情報のDB化</p>	<p>資料のデジタル化</p> <p>資料のネット利用</p>